

金ヶ崎中学校 1 年生の英語について

今回、私は金ヶ崎中学校の1年生の英語授業について書きます。今年の1年生の英語担当の先生は、関向真介先生です。今年度はまだ始まったばかりですので、今回は中学校1年生のゴールについて書きたいと思います。

今年度終わるまでに生徒は下記のことが出来るようになります。

- 初歩の英語で自分のことについて話せます。
- 初歩の英語を聞いて理解できます。
- フォニックスを使い単語を書けます。
- 初歩の英語を使っての文を書けます。

出来るようになるためには、生徒の努力も大切です。1年生の内容はそんなに難しくありませんが、勉強して練習しなくてははいけません。（私のすすめは毎日15分ぐらいです。）

今年、生徒はたくさんの大切なポイントを学びます。今は英語の基礎を作ります。もし今がんばれば次の学年は楽になります。今年のポイントは

- a) 基本的なフォニックス
- b) 書く
- c) 読む
- d) 初歩的な文法
- e) 主語と動詞の理解

このポイントは、英語を理解する上でとても大切なものです。どの生徒（そして保護者）にも理解してもらえるように頑張りたいです。

1年生の保護者の方は、小学校の英語活動を知っているかもしれません。小学校の英語活動は、中学校の英語の授業と違います。違いを知ることは大切なことです。小学校での第一の目的は、「英語に親しむこと」です。小学生は英語活動を通して、英語や他の文化に気がきます。小学生に読み書きを教えません。（中には、単語を知っている児童もいます。）

第二の目的は、英語でのコミュニケーションに自信を持ってもらうことです。小学校での英語活動は、教科ではありません。この違いによって、皆さんの授業に対する考え方が変わってきます。

中学校で英語が教科になります。だから、授業に対する教え方が変わってきます。英語でのコミュニケーションに自信を持ってもらうこともゴールですが、英語を使えるようにならなくてははいけません。読み書きが入り、ちょっと難しくなります。時々生徒たちはこの変化になれず、英語を苦手と感じてしまうことがあります。

今年は、金中で“架け橋”活動を増やします。“架け橋”活動は、小学校の英語活動のような活動で、中学英語への移行がスムーズになればいいと思います。私たちは優しい変化を作りたいです。